

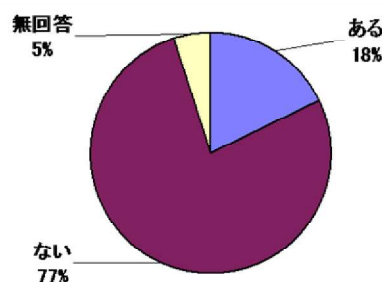
2 小学生（1～3年生）児童保護者

5. 一時預かりの状況

問11 私用やリフレッシュ、冠婚葬祭で子どもを家族以外に預けましたか。

家族以外に一時的に預けたことが「ある」人は17.8%となっている。

項目	回答数	構成比
ある	68	17.8%
ない	296	77.3%
無回答	19	5.0%
計	383	100.0%



【家族類型】でみると、「ひとり親」と「フルタイム共働き」で3割弱となっている。

選択項目	総計		A ひとり親		B フルタイム共働き		C パート共働き		D 専業主婦・主夫		E その他	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ある	68	17.8%	7	29.2%	29	28.4%	22	19.8%	10	6.9%	0	0.0%
ない	296	77.3%	10	41.7%	71	69.6%	89	80.2%	125	86.2%	1	100.0%
無回答	19	5.0%	7	29.2%	2	2.0%	0	0.0%	10	6.9%	0	0.0%
合計	383	100.0%	24	100.0%	102	100.0%	111	100.0%	145	100.0%	1	100.0%
回答者数	364		17		100		111		135		1	

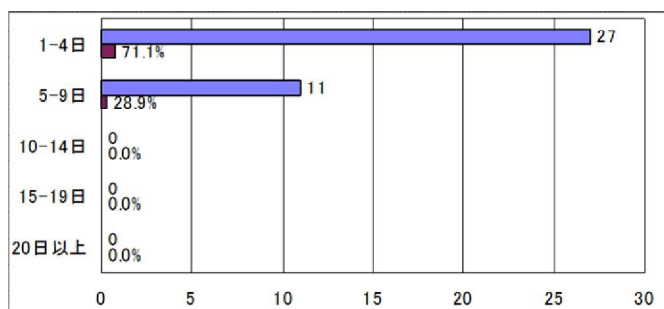
預けた日数をみると、「1-4日」「5-9日」が30%であり、預けた内訳は「私用、リフレッシュ」の「1-4日」が一番多くなっている。

対処方法別	計	1-4日	5-9日	10-14日	15-19日	20日以上
預けた日数	67	22	26	10	0	9
構成比	100.0%	32.8%	38.8%	14.9%	0.0%	13.4%

対処方法別	計	1-4日	5-9日	10-14日	15-19日	20日以上
①私用・リフレッシュ	32	14	15	1	0	2
②冠婚葬祭・子供の病気	12	7	0	5	0	0
③就労	19	3	9	4	0	3

- 今は利用しないが、今後施設に預けたいと思った人は、「1-4日」が7割でともっとも多く、「5-9日」が3割となっている。（問12）

項目	回答数	構成比
1-4日	27	71.1%
5-9日	11	28.9%
10-14日	0	0.0%
15-19日	0	0.0%
20日以上	0	0.0%
計	38	100.0%



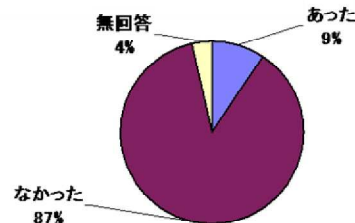
第2章 ニーズ調査の結果

6. 宿泊を伴う一時預かりの状況

問13：子どもを泊りがけで預けなければならなかったことはありますか。

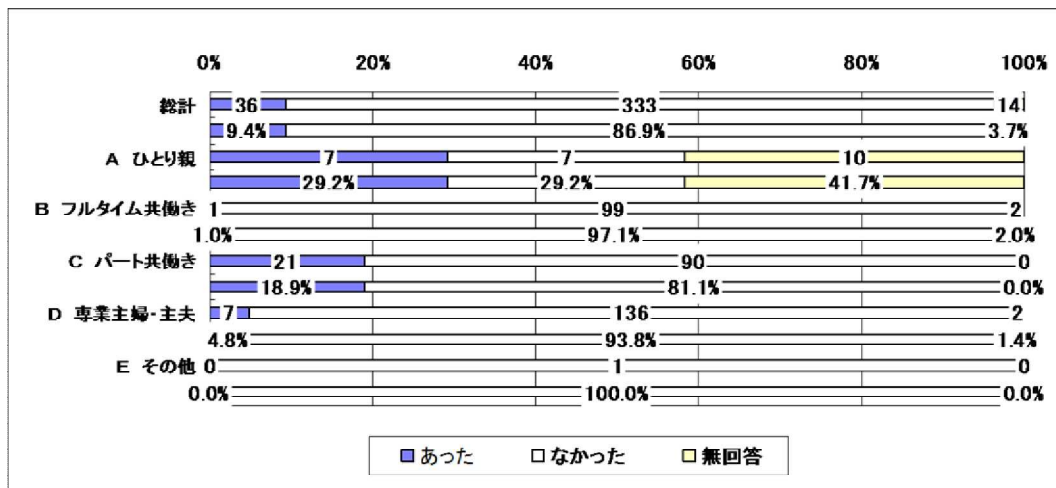
この1年間に、保護者の用事などで子どもを泊りがけで預けなければならなかったことがあった人は9.4%となっている。

項目	回答数	構成比
あった	36	9.4%
なかった	333	86.9%
無回答	14	3.7%
計	383	100.0%



【家族類型】でみると、「あった」は「ひとり親」29.2%、「パートタイム共働き」18.9%となっている。

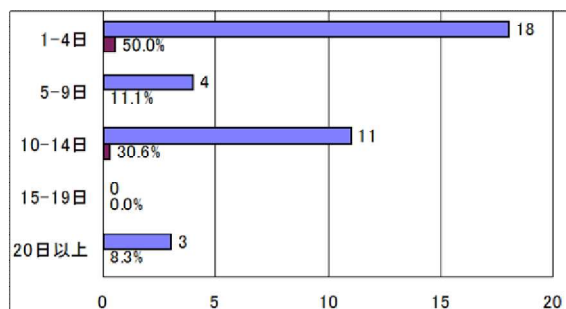
選択項目	総計		A ひとり親		B フルタイム共働き		C パート共働き		D 専業主婦・主夫		E その他	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
あった	36	9.4%	7	29.2%	1	1.0%	21	18.9%	7	4.8%	0	0.0%
なかった	333	86.9%	7	29.2%	99	97.1%	90	81.1%	136	93.8%	1	100.0%
無回答	14	3.7%	10	41.7%	2	2.0%	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%
合計	383	100.0%	24	100.0%	102	100.0%	111	100.0%	145	100.0%	1	100.0%
回答者数	369		14		100		111		143		1	



○ 預けた日数をみると、「1-4日」50.0%がもっとも多く、預けた内訳では「親戚・知人に預けた」が一番多くなっている。

預け方別	1-4日	5-9日	10-14日	15-19日	20日以上	計
預けた日数	18	4	11	0	3	36
構成比	50.0%	11.1%	30.6%	0.0%	8.3%	100.0%

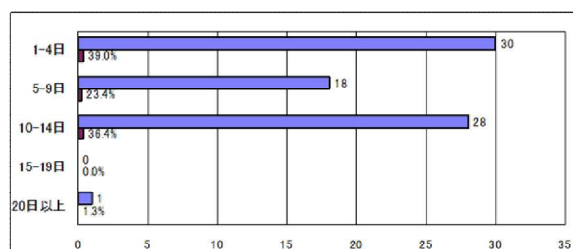
預け方別	計	1-4日	5-9日	10-14日	15-19日	20日以上
①親戚・知人に預けた	32	56.3%	6.3%	28.1%	0.0%	9.4%
②子どもを預けた	7	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③子どもを預けた	3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



2 小学生（1～3年生）児童保護者

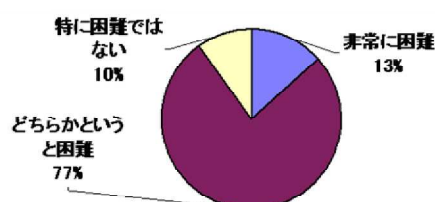
親戚・知人に預けた泊数は、「1-4日」39.0%、「5-9日」23.4%、「10-14日」36.4%となっている。

対処方法別	回答数	構成比
1-4日	30	39.0%
5-9日	18	23.4%
10-14日	28	36.4%
15-19日	0	0.0%
20日以上	1	1.3%
計	77	100.0%



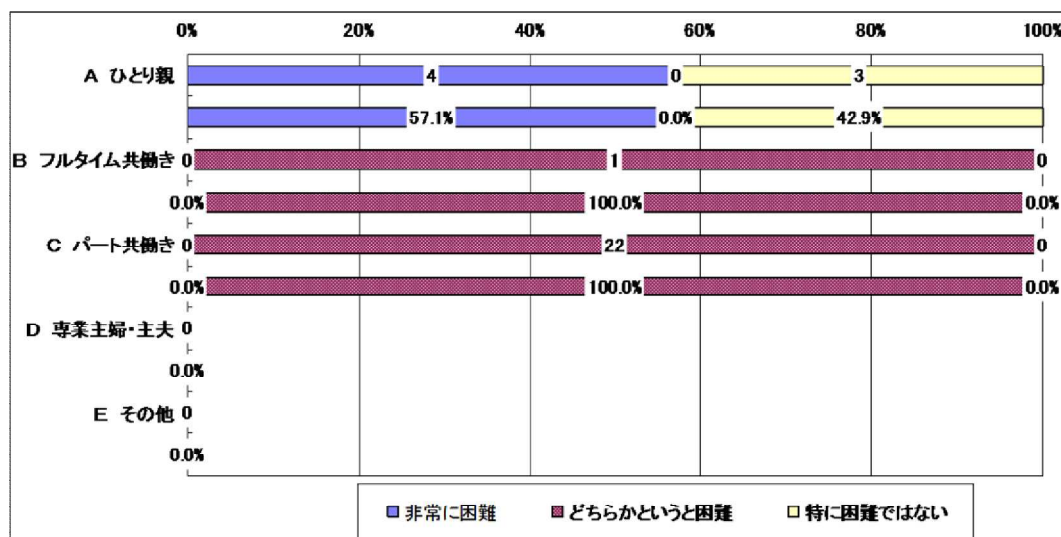
親戚・知人に預けた際の困難度は、「どちらかという困難」が8割弱を占め、「非常に困難」1割強と合わせると9割となる。「特に困難ではない」1割となっている。

項目	回答数	構成比
非常に困難	4	13.3%
どちらかという困難	23	76.7%
特に困難ではない	3	10.0%
計	30	100.0%



【家族類型】でみると、親戚知人に預けたでは「非常に困難」「どちらかという困難」が「フルタイム共働き」と「パートタイム共働き」では100%となっている。「ひとり親」では「非常に困難」が57.1%となっている。

選択項目	A ひとり親		B フルタイム共働き		C パート共働き		D 専業主婦・主夫		E その他		総計	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
非常に困難	4	57.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	13.3%
どちらかという困難	0	0.0%	1	100.0%	22	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	23	76.7%
特に困難ではない	3	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	10.0%
合計	7	100.0%	1	100.0%	22	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	30	100.0%



第2章 ニーズ調査の結果

7. ベビーシッターの利用状況

問14：どのような目的でベビーシッターの利用しましたか。

ベビーシッターを利用している人は、利用者も利用日数もなかった。

項目	回答数	構成比
こどもの病気、ケガ等の緊急時	0	0.0%
祖父母や近所の人・友人に預かってもらえないとき	0	0.0%
親の冠婚葬祭や買い物で	0	0.0%
その他の目的で	0	0.0%
無回答	383	100.0%

2 小学生（1～3年生）児童保護者

ニーズ調査 自由意見 小学生（1～3年生）児童保護者

No.	歳児	子育て全般に対する自由意見	要約
1	小学生	親が病気で入院した際は友人宅で預かってもらったが、公的な場所があるとより安心である。充実させてほしい。	親の入院時の一時預け
2	小学生	市内に屋内遊具施設があると良い。旭川や砂川まで出かけるのは大変である。	屋内遊具
3	小学生	無料の屋内施設（旭川カミイの森等）を富良野にも作るべきである。	無料屋内施設
4	小学生	屋内・屋外遊具施設を富良野市内にも作って欲しい。	無料屋内施設
5	小学生	朝早くから子どもを預かる市の施設を望む。	早朝開所
6	小学4	今後働きたいが、長期休みの際の預け先が無いので不安である。近くに親戚が居ないため、働く事に抵抗がある。	長期休み時の預け先
7	小学4	現在働いているので夏休みに学童を利用したかったのだが、定員がいっぱいとのことで利用できず困っている。	夏休み利用できない
8	小学生	学童保育の利用について、4年生以降も長期休みの際だけでも利用可能になることを希望する。4年生の原草ひとりだけでの留守番は親も本人も不安である。	学童利用小4迄
9	小学4	今1年生だが4年生になると学童を利用できないことが不安である。	学童利用小4迄
10	小学生	学童保育について、小学4年生以降は16時半までの預かりでは就労終了時間が間に合わず日の短い冬などはひとりで帰らせる事ができない。18時まで学童で過ごせる様全体的体制を整えるべき。現時点では働いている親が安心して子どもを育てられる環境作りには程遠い。	学童利用小4迄
11	小学4	また、小学4年生以降も保護者が就労している場合は、必ず学童保育か放課後子どもクラブにいられるようにしてほしい。	学童利用小4迄
12	小学生	学童保育について、4年生以降預ける場所が無く不安である。できれば4年生まで学童保育を受けさせて欲しい。また、祝日も行って欲しい。	学童利用小4迄
13	小学4	4年生以降も学童を利用したい。	小4以降も学童利用
14	小学4	学童保育の開始時間が遅く不便である。冬場、職員が遅刻した際など外で子どもが待っていることがある。体制をきちんと整えて欲しい。	早朝開所
15	小学生	農業の忙しい夏期だけでも学童保育等があると安心して働く事が出来る。	農繁期の学童利用

第2章 ニーズ調査の結果

ニーズ調査 自由意見 小学生（1～3年生）児童保護者

No.	歳児	子育て全般に対する自由意見	要約
16	小学生	また、学童保育の開始時間をもう少し早くして欲しい。	早朝開所
17	小学生	共働きなので早い時間からの勤務の時は、学童が8時半開始では遅い。1年生だと1人で戸締りをして学童に行くのは無理なので他人に連れて行ってもらっている。4年生以降は、帰宅後家に誰も居ないため塾やクラブに通わせないと心配でお金もかかるので、放課後保育を検討してほしい。	学童利用小4迄 早朝開所
18	小学生	4年生以上で長期休日を子どものみで留守番するのは抵抗があるためフルタイムの仕事につくのは不安である。ケガや急な発熱などの際も不安なので6年生までの学童保育・その様な場所が欲しい。放課後、小学1～3年は学童・中学生は部活があるが4～6年はなぜ何もないのか。	学童利用小6まで
19	小学生	学童保育について、学童に登録しているが普段は習い事などでほとんど行けない為、長期休みの時だけの登録があると経済的に助かる。	夏休み学童登録
20	小学生	小学3年生まで利用できる夜間保育施設が欲しい。民間託児所は夕刻までで未就学児のみのため。学童はせめて小学4年生まで利用できるようにして欲しい。また施設の広さに対し子どもの人数が多すぎて、建物の老朽化・職員の負担も気になる。増設を望む。	夜間保育 学童利用小4迄 児童館の建替え
21	小学生	現在は上の子が居るので兄弟で日中・夜間と留守番できるが、第1子が低学年の時はできなかった。急に仕事が遅くなった時などは迎えが間に合わなく大変だった。	学童年齢の延長
22	小学生	祖父母が他界しておりいざという時子ども達を預ける場所がない。インフルエンザ等で急に休校になった際に、学童に行けず1人で留守番しなければいけないので低学年中は不安だった。その様な際に臨時に開設してくれる場所があるといいのでは。	休校時の臨時開設
23	小学生	就労したいが学童保育では4年生以降の事を考えると難しい。また、児童館の立地が学校よりも遠いため低学年のうちは一人で行かせるのは心配である。隔週でもいいので土曜日に学校があると嬉しい。	学校の土曜開放
24	小学生	学童保育が学校から離れすぎており全く意味をなしていない。普通は学校内などにあるのでは。病時保育施設を充実させるべき。	学校内学童
25	小学生	学童保育が学校内等であれば安心して通わせられるが、現在は立地がよくない。	学校内学童
26	小学生	学童保育・放課後子ども教室共に学校にそのまま利用する形になると良い。安全面で不安である。	学校内学童
27	小学生	烏沼地区において、学校内での放課後保育はできないのだろうか。児童館も遠く、就労希望はあるが現実的には難しい。	学校内保育
28	小学生	全ての子どもが対象になる放課後子ども教室を市内全ての学校で実施して欲しい。学童では学童児・自由来館児と線引きがあり、区別感がある。	放課後子ども教室
29	小学生	児童の放課後や休日の行動に親は責任を持つべきである。仕事に出る親は学童や放課後子ども教室を利用するべきで、他の家庭に遊びにいかせたり迷惑をかけるべきではない。	放課後子ども教室

2 小学生（1～3年生）児童保護者

二ノズ調査 自由意見 小学生（1～3年生）児童保護者

No.	歳児	子育て全般に対する自由意見	要約
30	小学生	札幌では緊急時に市に登録している近所の民家で一時的に子どもを預かったり、幼稚園に迎えに行く制度がある聞いた。そのような子育て支援があれば良いと思う。	近所での一時預かりや送迎
31	小学生	子育て中や子育てが終わった母親が無料で短期で子どもを預かるシステムがあれば、近隣に両親や友人の居ない親が助かるのではないかな。もしその様なサービスがあれば協力したい。また、親同士の相談やサポートに繋がるのでは。	母親託児ボランティア
32	小学生	市内の公園は整備されているところが少なく、利用する気になれない。子どもが遊べる環境が少なすぎる。街並みを整備するだけではなく、もっと子ども達のために考えていただきたい。	児童公園整備
33	小学生	扇山小学校の近隣にも図書館のような無料の場所を作る・体育館で遊べるようにする等の配慮が必要である。	こども施設建設
34	小学生	育児支援のひとつとして母親の就労の有無に関わらず外部託児の充実（施設を増やす・利用料金割引・病児保育施設の設置等）を図って欲しい。	託児施設の増設
35	小学生	インフルエンザ等で学校や学級閉鎖になった際、元気で学童で預かってもらえず困った。実家も遠いのでその様な時に預かってもらえる場所があると良い。また悪天候の際自宅から学校まで遠く、仕事で子どもを迎えにいけない時に子どもが時間をつぶせる様な場所があると良い。	悪天候時の児童館利用
36	小学生	日曜・祝日に預ける場所が無く困っている。	休日開館
37	小学生	学校から家までが遠く1人で歩いて帰らせるには難があるので、児童館に立ち寄りさせて欲しい。	下校時に児童館利用
38	小学生	学童保育について、札幌では自由来館の子どもでも学校帰りに来館できるがなぜ富良野では無理なのか。学童で遊ぶ事は子どもにとって大切なので、検討して欲しい。	下校時の児童館利用
39	小学生	学童のほかに放課後過ごせる場所はないのか。	放課後場所
40	小学生	ベビーシッターや預かりに力を入れるのではなく、雇い主が休みやすいような環境作りや正職員でも短時間労働が可能、などの意識を持つ必要がある。市はもっと雇い主や企業に対し働きかけるべきである。	企業の子育て支援
41	小学生	就労先に託児所や緊急時の早退制度なども無くこの先が不安である。	企業の子育て支援
42	小学生	現在母親がパートで働いているが病気や行事などの際に休みをもらうのは難しい。今後子どもを産みたいが経済的な面で諦めている。子育て中の世帯の負担が軽減され親が働きやすくなるまちづくりを望む。	企業の子育て支援
43	小学生	本来小学生までは家庭で母親か父親が子どもを育てることができればベストである。そうなる様国がしっかり支援できる環境を整えるよう望む。	家庭保育

第2章 ニーズ調査の結果

ニーズ調査 自由意見 小学生（1～3年生）児童保護者

No.	歳児	子育て全般に対する自由意見	要約
44	小学生	乳幼児医療費受給証の終了年度が早生まれには不公平。予防接種の際の受付係の態度の改善を望む。	接客改善
45	小学生	調査表・回答紙が非常に見づらく、質問の内容も何が知りたくてこれからどのようにしていくのかが具体的ではない為、答える意義がない様に思う。子育てしやすい環境に本当になるのか疑問である。	アンケートがわかりづらい
46	小学生	一時預かりについて、対応施設の年齢の制限を上げて欲しい。また、夕方から夜の学童・クラブ・塾からの帰り道が心配なので住宅街や道路の街灯を増やして欲しい。パトロールの強化も望む。	街路灯増設
47	小学生	へき地の学校・児童にも人材・予算を振り分けて欲しい。児童の通学路にヒグマが出没しており、地域の行事も中断されつづけている。早急な対策と合わせ、根本的な対策を望む。	通学時のヒグマ対策
48	小学生	へき地であるため保育所の時間も短く学童保育もない等、サービスに差があるように感じる。へき地だからこそ保育時間の延長・放課後教室の充実もしくは学童の設置に力をいれて欲しい。	へき地のサービス向上 保育時間延長 放課後教室 学童設置
49	小学生	山部地区において、学童保育の開始・放課後子ども教室の回数の増加を望む。	山部学童要望
50	小学生	子どもはよくケガや風邪をひくので、病院代・入院代は6年生まで1割負担にして欲しい。または7歳まで無料にするべき。富良野市は子どもが多いのに病院代等が高く、金銭面でしっかきして欲しい。	医療費1割小6迄
51	小学生	幼児・小学生の医療費の負担額をもっと低くして欲しい。また入院時の兄弟の預け先の確保も大切である。	医療費軽減
52	小学生	子どもが発達障がいを持っていて医療費のため経済的に苦しい。また小さな子どもが居る家庭でも医療費の問題は重要であると感じる。少しでも優遇される事を切実に願う。	医療費軽減
53	小学生	子どもが喘息のため医療費がかさむので、小学生までは1割負担になると助かる。老人にはいろいろな政策がある様に、児童分野でももっと手厚い政策を望む。	医療費軽減
54	小学生	小学生の医療費3割負担だが、もう少し負担を軽くして欲しい。10歳程度まで無料化を希望する。また、ひとりで留守番をしている小学生を対象にしたファミリーサポートの立ち上げを望む。	医療費無料課 ファミリーサポート
55	小学生	緑町の学童保育の過密状態の解消を望みます。子どもが無料で使用できるスポーツ施設を望みます。（プール・体育館・アスレチック等）	緑町建築
56	小学生	緑町学童は子どもの人数も多く、建物も狭く、職員も大変そう。もう少し建物が良くなれば良いと思う。	緑町児童館の新築
57	小学生	子どもが小さい時にベビーシッターが欲しかった。また、雨の日や冬に室内で遊べる施設が無いので困った。幼児クラブのように登録しなくても自由に行ける施設があれば良いと思う。	幼児クラブ 冬の屋内施設